



# 事務局だより

平成23年3月25日



No138

## 東北地方を大地震襲う！！

平成23年3月11日午後2時46分頃三陸沖を震源地にマグニチュード9の地震が発生。その直後、地震に伴う大津波が岩手、宮城、福島、茨城、千葉の海岸を襲い甚大な被害をもたらした。

県連盟では、理事長名で被災された各県連盟理事長宛に衷心からのお見舞いのメールを送りました。なお、各団宛には義捐金の街頭募金をお願いする文書の併せて送りました。

被害を遭われた方々には一日も早い復興を心よりお祈りいたします。

そこで今、私達に出来ることは復興への義捐金を贈ることかと思えます。ボランティアは今の状況では難しい、まず瓦礫の撤去、行方不明の方々の搜索です。宮城県、仙台市ではボランティアの飽和状態の様です。50名に対して600名が応募したとのこと。迷惑なボランティアはお断りです。

食料、寝る場所の確保は自分で出来るボランティアが今回は特に求められます。現地で迷惑になるようでは困ります。またボランティアの押し売りはこれも迷惑ですまずスカウトとしてボランティアに参加したい方は日本連盟のHPから登録用紙をダウンロードして、県連盟にボランティアの登録をまず行ってください。今、県連盟に募金活動、スカウトからの義捐金等が寄せられています。3月25日現在、義捐金を寄せられた団は



金沢第26団、野々市第1団、小松第3団、

加賀第3団です。誠にありがとうございます。

各団におかれましては、是非義捐金の募金活動に協力をお願い致します。私達は平成19年能登半島地震で多くの方の善意を戴いています。これらの義捐金は日本連盟を通じて、日本赤十字社に送り、被災されました方々に贈られます。また県連盟からは持ち回り理事会において、見舞金積立から100万円を拠出し、日本連盟を通じて各県連盟のスカウトに贈られます。また、現在県連盟で取り組んでいます、エコキャップ回収運動ですが、エコキャップ推進協会北信越支部では、横浜の本部に呼応して、エコキャップで東日本大震災の復興に当てたいと、今展開しています。ビーバー、カブ、ボーイのスカウトはエコキャップで復興のお手伝いのできるのです、是非取り組んで欲しいものです。詳細はエコキャップ推進協会HPか、県連事務局にお尋ね下さい。

## 第22回世界スカウトジャンボリー派遣員決まる 111

今夏スウェーデン開催されます第22回世界スカウトジャンボリーの派遣員が決定しました。以下のとおりです。

佐野 太紀(金沢10)・反園 諒人(金沢12)・宮竹 夏生・麻生樹・山田 拓・山田 航・  
天日 智柱(以上加賀3)・梶平 有耶(珠洲1)以上8名です。所属は派遣C団第13隊、隊長は美濃加茂第1団VS隊長 中嶋広志さんです。出発は7月25日ですが、準備訓練の為に、7月23日より県内を出発します。

菊スカウト進級おめでとう!!!

先般金沢地区の面接を修えて見事菊級スカウトに進級しましたスカウトは以下のとおりです。

藤田 真輝士(認証No402) 竹内 拓巳(認証No403)

太田 開人(認証No404) 以上金沢第11団 進級おめでとう、今後益々の活躍を期待します。



## 平成23年度日本連盟全国大会、県連盟年次総会について

平成23年度全国大会は5月28日、29日の日程で茨城県水戸市で開催予定ですが、東日本大震災で茨城県の被災されていることから、現在調査中とのこと。今しばらくお待ち下さい。

なお、県連盟年次総会は6月12日(日)13:00よりホテル日航で開催予定です。

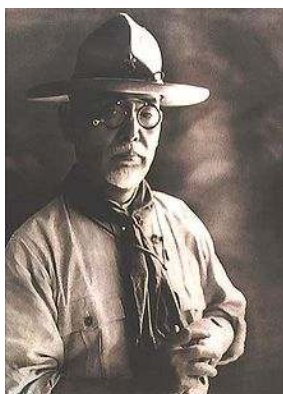
総会終了後、日本連盟理事長 奥島康孝先生を迎え、講演会を実施、その後奥島理事長を囲んでの懇親会も予定しています。総会案内は5月連休明けに発送予定です。

## 4月の予定

8日 監査会 14日第1回名誉会議 22日 決算理事会

## 29日～5月2日 ウッドバッジ研修所カブ課程石川第15期

事務局のぼやき



千年に一度の大震災と言われる今回の地震。マグニチュード9なんともはや大変である。地震による大津波が被害を大きくしたようである。そして被害の範囲が東日本全体と大きい。また原発事故と追い討ちをかけている。先般理事長名で福島連盟の増子理事長宛にお見舞いのお手紙を差し上げたところ、早速お返事を戴きました。大変ななか恐縮な思いです。文面には復興に向けての力強いことが書かれていました。今、私達に出来ることは復興に向けての支援です。是非義捐金をお願い致します。国では復興に向けて復興庁の設置を考えているようです。関東大震災の後に復興院が設置されました。その総裁は大風呂敷と異名のある日本連盟初代総長後藤新平翁です。復興に当たって国に途方も無い復興費を吹っかけたそうです。新平翁だから出来たようです。私達は新平翁の「自治の三決」の如く、支援に力を注ごうではありませんか……………犠牲者の方々に衷心よりお悔やみ申し上げ